



梅雨時は交通事故が多発する季節です

ジメジメと雨が降り続く梅雨の季節がやってきます。
梅雨は恵みの雨をもたらしてくれる一方で、交通事故が多発する季節でもあります。以下のことに気を付けましょう。



梅雨時に交通事故が増加する5つの要因

1 雨による視界の悪化

雨が降ると視認は悪くなり、ワイパーを使用するので更に視認の悪化に輪をかけてとなります。交通事故が起きる条件が揃ってしまう状態になると言えます。慎重な運転を心掛けましょう。

2 雨音による車内と車外の音の遮断

ドライバーは、目からの情報に加え、音による情報を頼りに運転しています。梅雨期の運転時には「車内の音楽を消す」「少しでも窓を開ける」など、外の音をキャッチしやすくする工夫をしましょう。



3 雨(水たまり)による路面の悪化

「ハイドロプレーニング(タイヤと路面の間に水が入ることで、タイヤが滑りやすく、ハンドル、ブレーキが効かなくなる)現象」がよく起こると言われています。この現象が起こる原因は「スピードの出し過ぎ」「タイヤの溝の摩耗」「タイヤの空気圧不足」の3つが主な原因です。基本に忠実な運転を心掛けましょう。



4 歩行者の行動の問題

雨天時の歩行者の行動で気をつけるポイントとして、「子供の急な飛び出し」「雨に濡れたくないため、横断歩道や信号を守らず、無理に道路を横断する歩行者」「周りをよく見ない歩行者」「傘をさして運転する自転車」などが増加します。ドライバーは、一層の防衛運転を!

5 ドライバーの心理的な問題

ドライバーが気をつけたい雨天時の運転の心理面での心構えは、「イライラしない」「車の雨対策をして余裕を持つ」「急がず、無理な追越しなどはしない」「歩行者の動きに十分注意する」「豪雨がきたら運転を停止、休憩をすることも念頭におく」の5点です。

お知らせ ~安全運転管理者等の皆様へ~

- 令和6年度安全運転管理者等法定講習は6月下旬から12月下旬まで開催予定です。
- 法定講習受講通知書は、6月初旬から順次県内受講対象者の皆様に郵送いたします。
- 法定講習会に関するお願い、日程、開催場所、お知らせなどは、6月初旬に当協会のHPに掲載いたします。~ ご確認ください ~